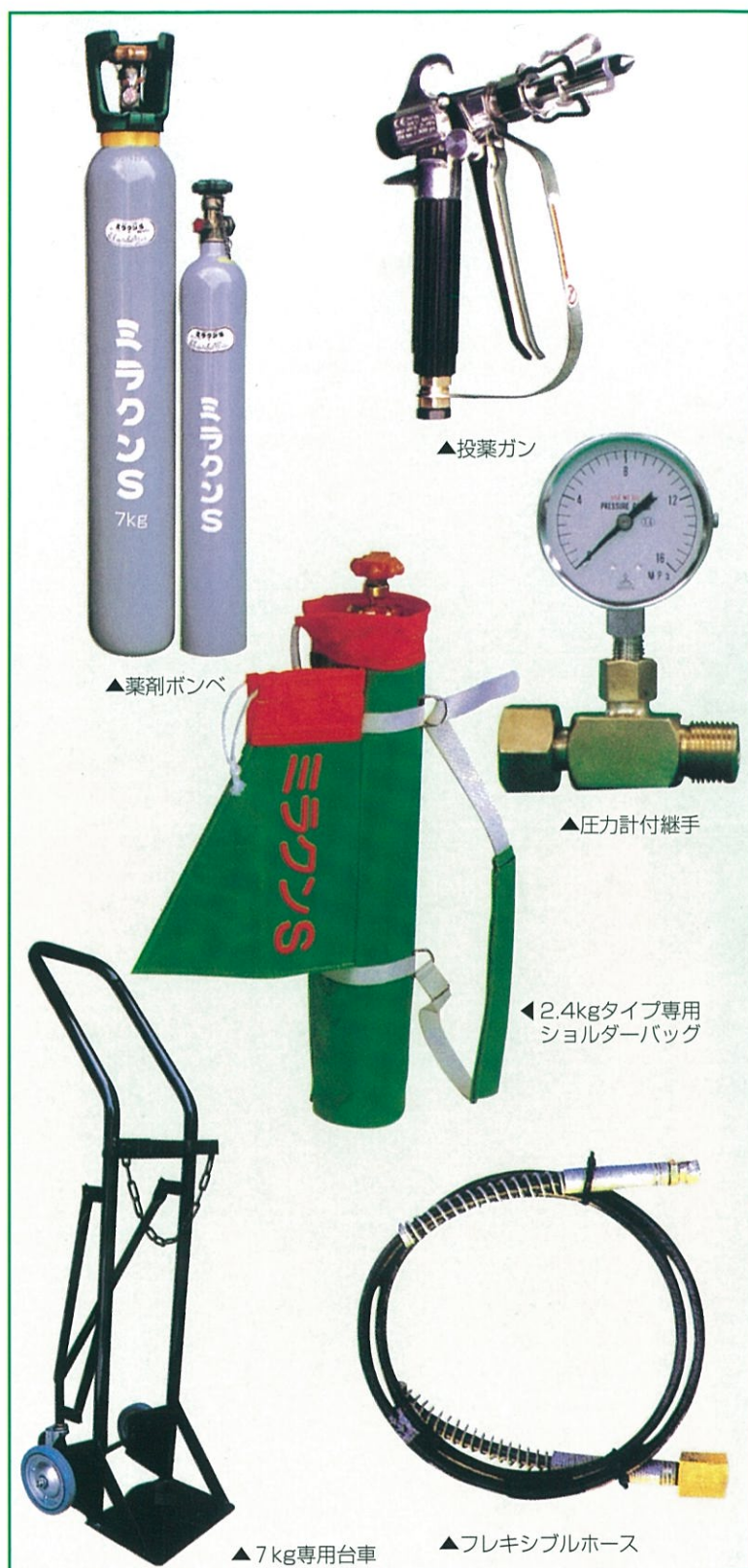


使用上の注意を守って正しく お使いください。

使用前に必ず添付文書をお読みください。

1. 用法・用量を厳守してください。施工場所の床面積、容積を計算し投薬量を算出してください。
2. 本剤の有効使用量は7kg容器で約6kg、2.4kg容器で約2kgです。
3. 二酸化炭素中毒や酸素欠乏などを引き起こすことのないよう注意してください。
4. 人体、及び動物に向かって直接噴霧しないでください。
5. 噴霧薬剤が眼に入ったり、吸い込んだりすることのないように、作業者は必ずゴーグル型安全メガネと防塵マスクを着用してください。（薬剤を直接吸入すると鼻や喉に刺激を感じます）。その他、長袖の着衣や手袋なども着用し、できる限り皮膚の露出を少なくしてください。万一作業者が中毒症状を引き起こした場合、直ちに医師の手当てを受けてください。
6. 飲食物、食器及び飼料は屋外に出すか、薬剤がかからないように養生をしてください。
7. 施工の際は煙感知器が作動するので管理責任者に相談し、処置を講じてください。
8. 魚毒性が強いため水槽等のある場所では使用しないでください。また、水生生物が生息する河川等に向かって直接噴霧しないでください。
9. 微粒子の落下付着により曇りが生じる物（特に光沢面）がありますので、必要に応じて養生をしてください。
10. 容器は28℃以下で使用してください。30℃以上になると薬剤が分離することがありますので、その場合は冷却攪拌後使用してください。分離した薬剤を噴霧すると、べとつき等の汚れを生じるので注意してください。
11. 多量の薬剤が付着するとポリスチレン、ABS樹脂を溶解することがありますので、出来るだけフィルム等で養生してください。万一多量の薬剤が付着した場合は直ちに中性洗剤で拭き取ってください。
12. 容器は転倒させたり転落させたりしないよう、また衝撃を与えないよう静かに取り扱ってください。

「注意—人体に使用しないこと」



※仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

⚠ 安全に関する注意

ご使用前に「ミラクンS」の添付文書をよく読んでください。

SES 住化エシロメンタルサイエンス株式会社

大阪市中央区道修町二丁目2番8号

15.02.1K.TI

製造販売元

日本液炭株式会社

本社 〒108-0014 東京都港区芝4-1-23三田NNビル8階

ガス営業部
TEL 03-6722-2251 FAX 03-6722-2257

<http://www.n-eco.co.jp>



本社

〈販売店〉

ミラクンS

防除用医薬品

SES 住化エシロメンタルサイエンス株式会社



日本液炭

N-Eco

ミラクン[®]S

はじめに——

近年、ULV等の普及により害虫防除技術は変わりつつありますが、使用される薬剤については、乳剤や油剤がほとんどです。これらは、水や有機溶媒を用いているため汚染や臭気の心配を伴い必ずしも安心して使用できる薬剤とはいえません。ミラクン[®]Sは炭酸ガスにフェノトリンを直接溶解した全く新しいタイプの防除用医薬品です。

特徴

1. ドライでクリーンしかも短時間処理

有機溶媒や水を使用しないため、溶媒臭もせず、しかも、濡れ等による汚染がほとんどありません。薬剤効果は4時間程度の短時間処理で十分効果を発揮できます。

2. フラッシング効果と速効性に優れる

ゴキブリに対し高い追い出し効果があり、また、速効性に優れています。残効性もあり、忌避効果を発揮します。

3. 拡散性が良い

超微粒子(0.3~3ミクロン)化した薬剤が隙間やクラックの深層部までいきわたります。

4. 動力使用の わずらわしさを解消

薬剤そのものが強力な噴射剤であるため、他の動力は一切使用する必要がなく、いかなる場所でも施工が可能です。

5. 処理が簡便である

薬剤の調合や後処理の必要も無く、作業の効率化が可能となります。



ドライ施工法の提言

ミラクン[®]Sによる害虫防除は、フェノトリンと炭酸ガスだけの成分である特徴を生かして有効成分を超微粒子化しております。このドライでクリーンな薬剤による害虫防除をドライ施工法と名付けました。確実な防除効果をあげるため、作業が簡便で多くの特徴を持つドライ施工を是非行ってください。



■主な性質

ミラクン[®]Sは乳剤や油剤と異なり希釈などの必要がありません、高圧ガスであるためそのまま噴霧してください。

- 組 成／有効成分：フェノトリン 1wt%
噴 射 剤：液化炭酸ガス 99wt%
- 性 状／容 器 内：無色透明高圧液化ガス
吐 出 時：白煙状微粒子

■容器形態

ミラクン[®]Sは高圧ガスで金属製耐圧容器に充てんされています。

容器形態

	2.4Kタイプ	7Kタイプ
内 容 量 (kg)	2.4	7.0
総 重 量 (kg)	6.5	19
容器寸法 (mm)	全高	700
	外径	105
容 器 材 質	アルミ	鉄



■施工方法

専用台車に容器ボンベを乗せ、投薬用のガンとボンベをホースで接続するだけで準備は完了です。

ゴキブリに対しては処理空間の容積に対し10g/m³の割合で噴霧します。噴霧後室内を密閉し4時間放置した後開放する。噴霧の際は潜み場所を重点的に処理し、粘着テープやベート剤を併用するとより効果的です。また、飛翔害虫に対しては1g/m³の割合で上部空間に噴霧し、30分間密閉後開放してください。

■効能・効果と用法・用量

ハエ成虫、カ成虫、ゴキブリ、ノミ、トコジラミ（ナンキンムシ）、イエダニ及び屋内塵性ダニ類の駆除にご使用ください。

ミラクン[®]Sはゴキブリ等の害虫に優れた殺虫効果、追い出し効果、ノックダウン効果があります。

用法・用量

対象害虫	投 薬 量	処理時間
ゴキブリ	10g/m ³	4時間
ハエ、カ成虫	1g/m ³	30分間
屋内塵性ダニ	5g/m ³	4時間
カ成虫(野外)	1g/m ³	発生所又は生育場所

※) 投薬量は、噴霧時間を目安にしてください。
口径0.5mmノズルの吐出量は約410g/minです。(但し、残量が少なくなると吐出量が減少しますので、正確な投薬量は投薬前後の容器重量を測定算出してください。)

ゴキブリに対する効力

噴霧量 (g/m ³)	チャパネゴキブリ		ワモンゴキブリ	
	KT ₅₀ (分)	致死率(%)	KT ₅₀ (分)	致死率(%)
10.0	26.0	87.5	20.0	100

ヒメイエバエ成虫に対する効力

噴霧量 (g/m ³)	ヒメイエバエ密度指数		防 除 価 (%)
	処 理 前	処 理 後	
1.0	173	14	92.6
対照区	113	123	—

屋内塵性ダニ類に対する効力

噴 霧 量 (g/m ³)	苦悶・死ダニ率(%)	
	ケナガコナダニ	コナヒョウヒダニ
5	98.3	100
対 照 区	1.4	4.1

■安全性

ミラクン[®]S は、ピレスロイド系殺虫剤フェノトリンと炭酸ガスの混合剤で、他の物は含まれていません。

フェノトリン及び炭酸ガスの毒性

フェノトリンの急性毒性	
経口 LD ₅₀ ラット	♂ ♀ > 5,000mg/kg
経皮 LD ₅₀ ラット	♂ ♀ > 5,000mg/kg
吸入 LC ₅₀ ラット	♂ ♀ > 2,100mg/m ³ (4時間)
魚毒性LC ₅₀ (48hr) コイ	0.13ppm

炭酸ガスの毒性	
日本産業ガス衛生学会及びACGIHの許容濃度	5,000ppm
労働安全衛生規則上の立入禁止濃度	15,000ppm以上

投薬量と炭酸ガス濃度の関係

投薬量 (g/m ³)	3	5	10
炭酸ガス濃度 (ppm)	2,000	3,120	5,890

大気中のCO₂濃度350ppmを含む数字(25℃換算値)